

情 報 公 開 文 書

研究の名称	切除不能進行・再発小腸癌に対する化学療法の治療成績、安全性の後方視的検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究代表者	富山大学 学術研究部医学系 内科学第三講座 助教 元尾伊織
研究の概要	<p>【研究対象者】 2013年1月1日から2026年3月31日までに、富山大学附属病院において切除不能進行・再発小腸癌に対して、化学療法を受けた方</p> <p>【研究の目的・意義】 小腸癌は消化管腫瘍の3%以下にみられる希少癌であり、切除不能進行・再発小腸癌に対する標準治療は確立されておらず、本邦では第2相試験の結果から、1次治療としてFOLFOX療法が保険適応となっています。また、遺伝子パネル検査は2次治療以降の治療選択肢を増やす目的で重要です。小腸癌の症例は非常に少なく、その治療に難渋するため、当院における小腸癌の治療成績、安全性とそれに関連する患者背景の探索、また、遺伝子パネル検査の実施率とその結果をまとめることは、小腸癌に対する治療戦略を検討する際の重要な資料となり、臨床的意義は大きいと考えられます。</p> <p>【研究の方法】 後ろ向き観察研究で、対象期間中にの対象患者における患者基本情報、問診情報、身体所見、検査データ、画像所見データ、治療関連データ、遺伝子パネル検査関連データを診療録から収集し、研究代表者が解析します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日から2027年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究結果は消化器系学会または論文で発表の方針です。</p> <p>【利益相反の状況】 公開すべき利益相反はありません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>本研究に試料は用いません。情報は以下の項目を用います。 性別、生年月日などの基本情報、臨床経過、既往歴などの問診情報、身長、体重、体温、血圧、脈拍数などの身体所見、血清総蛋白、血清アルブミン、血清コリンエステラーゼ、血清総コレステロール、血清尿素窒素、血清クレアチニン、血清ALT、血清AST、血清LDH、血清CRP、血球数、尿蛋白、腫瘍マーカーなどの検査データ、内視鏡検査所見、CT検査所見、MRI検査所見などの画像所見データ、病理所見、処方、注射、手術などの治療関連データ、遺伝子パネル検査により検出された遺伝子変異などのデータなど 他機関への提供は行いません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学 学術研究部医学系 内科学第三講座 助教 元尾伊織
研究対象者、親族等関係者からの相談等への	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する

対応窓口	<p>る相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7301</p> <p>E-mail iori4869@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系内科学第三講座 元尾伊織</p>
------	--